

むくみは生活習慣で予防できる

- かかとの上げ下げ運動をする。
- ふくらはぎを鍛える運動をする。
- 塩分を控え、カリウムを多めに取る。
- 水分補給はしっかりと。
- アルコールはたしなむ程度に。
- 足を少し高くして寝る。
- 睡眠時間は十分に取る。
- 飲んでいる薬を確認する。

むくみの原因には、筋肉の収縮によるものと、心臓や腎臓などの臓器の機能障害によるものがあります。特に心臓や腎臓の機能が低下すると、血液の循環が悪くなり、四肢のむくみが発生します。

むくみを予防するには、以下の方法が効果的です。

- 筋肉の収縮によるむくみ：足の上げ下げ運動や歩行、階段昇降などの運動で筋肉を鍛えます。
- 心臓や腎臓の機能障害によるむくみ：塩分を控え、カリウムを多く摂取し、水分補給を心がけます。
- アルコールによるむくみ：アルコールの摂取量を減らす。
- 睡眠によるむくみ：足を高くして寝ることで脚のむくみを防げます。
- 薬によるむくみ：特定の薬の副作用でむくみが発生する場合は、医師に相談する。

むくみは、日常生活で簡単に予防できます。ただし、個々の状況によっては、専門的な治療が必要な場合があります。もしもむくみがひどい場合は、必ず医療機関に相談してください。

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。

(12) むくみを予防するには

前回まで、むくみのメカニズム、むくみの見方を説明しました。

が、病気のない人に起るむくみは、日頃の生活習慣で予防できます。下肢の血液を心臓へと戻すのに重要な役割を

する。

塩分を取りすぎる

と、高くなつた塩分濃度を下げるために水分をため込むのでむくみやすくなります。厚労省が推奨する塩分摂取量は1日当たり男性

コップ1杯の水を飲んでうと効果的です。

ぎのポンプ機能がよくなります。むくみにくくなります。

ふくらはぎのマッサージも有効です。心臓に向かって血液を送り出すように行いましょう。風呂上がりにコップ1杯の水を飲んでいいです。

が、病気のない人に起るむくみは、日頃の生活習慣で予防できます。下肢の血液を心臓へと戻すのに重要な役割を

する。

塩分を取りすぎる

と、高くなつた塩分濃度を下げるために水分をため込むのでむくみやすくなります。厚労省が推奨する塩分摂取量は1日当たり男性

コップ1杯の水を飲んでうと効果的です。

が、病気のない人に起るむくみは、日頃の生活習慣で予防できます。下肢の血液を心臓へと戻すのに重要な役割を

する。

塩分を取りすぎる

と、高くなつた塩分濃度を下げるために水分をため込むのでむくみやすくなります。厚労省が推奨する塩分摂取量は1日当たり男性

コップ1杯の水を飲んでいいです。

が、病気のない人に起るむくみは、日頃の生活習慣で予防できます。下肢の血液を心臓へと戻すのに重要な役割を